

ようご

あいさつ

岩手県学校保健会養護教諭部会会長 村上百合子



日頃より、本部会に対し多大なるご理解とご協力を賜り深く感謝申し上げます。

コロナ禍により今年度予定していた各種会議や研究大会が書面開催・書面決議に変更され皆様にもご心配とご迷惑をおかけすることとなりましたが、皆様のご理解を頂きありがとうございます。この場をかりて改めて感謝申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症がいつ終息するか見通しの立たない中、昨年度から引き続き日々の業務に加えて感染症対策に力を入れなくてはならず、心身共にお疲れの方も多いのではないのでしょうか。感染症対策は養護教諭だけではまならず、チームで対応することの必要性を実感させられます。一方、コロナ禍で子供たち自身は、今までよりも自分の健康に目を向け、気を遣うようになったのではないのでしょうか。新型コロナウイルス感染症が終息したあとの感染症対策にもつながるよう、この今の経験を大切にしていければと思います。

本部会ではこれからも養護教諭の資質向上、職の充実と発展のための取組ができるよう進めていきたいと思えます。今後も引き続き、ご理解とご協力を頂きますようよろしくお願いいたします。

全国養護教諭連絡協議会 第23回研修会参加報告 (WEB開催 動画配信期間 8月21日～9月20日)

① コロナ禍における児童生徒の健康を考える ～養護教諭を対象とした3回の全国調査から見えること～ (講師：埼玉大学教育学部 教授 戸部秀之先生)

3回の養護教諭へのWebアンケート(子どもの健康や感染防止対策について)を基に、児童生徒の健康問題等について解説をし、コロナ禍の体験を養護教諭の成長力とし、コロナ禍の後を見通した健康教育に活かしていくことが大切である。

② ケーススタディで学ぶ救急車を呼ぶべきかの見極め

(講師：和歌山県立医科大学 救急集中治療医学講座 高度救命救急センター 助教 那須亨先生)

火傷、外傷性出血、頭部打撲、熱中症、アナフィラキシーショック、腹痛についての基本的な対応と見極めについての講話。「何かおかしいと感じたら人を集めて救急車を呼びAEDを準備」「迷ったらエピペンを打て、救急車を呼べ」「学校現場と病院の架け橋になってください」「訓練をしないのは失敗を計画すること」というメッセージを伝えた。

③ 「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指し(講師：新潟医療福祉大学健康科学部 教授 杉崎弘周先生)

教材の工夫、長所と短所を使い分けた指導等、自分の経験や知識から予想し理由付けすることで学びにつながる。「保健教育のバリエーションを使い分けた指導」「保健の見方・考え方で学ぶ意味の再確認」「教材と運用の工夫による主体的・対話的な授業」「保健の学習過程の意識」が主体的・対話的な学びとなる。

④ 「心の免疫力についての理論と支援のありかた」ソーシャルエモーショナルラーニング

(講師：法政大学大学院ライフスキル教育研究所所長 法政大学文学部心理学科 教授 渡辺弥生先生)

感じた気持ちを言語化できることが心の発達につながる。発声のニュアンスから感情を理解することは年齢問わず個人差が大きく、言葉で説明できないと理解がずれて伝わることもある。ソーシャルスキルが未熟であることでトラブルを起こす子供は、スキルを身に付け自己成長できることが分かるとやる気の向上になる。誰しも失敗する部分を持っているので、伸び代を考え足場を作ってあげ、自尊心を育てることが大切である。

令和5年度発表予定地区の研究紹介

<盛岡地区>

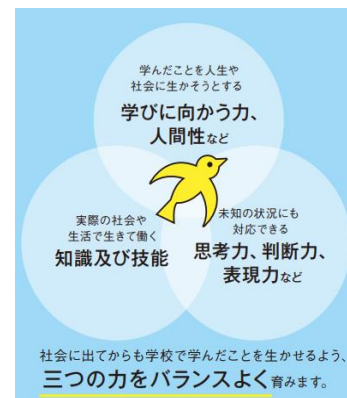
「保健室における教育的意図のある声かけの検討について」

～『生きる力』を育む3つの柱を基盤として～

盛岡市養護教諭部会 3班

養護教諭が日常的に行っている活動には、児童生徒への願いや思いが込められ、そのための意図的な声掛けを行っている。それは、文部科学省が示している『生きる力』にもつながっていく。

本研究では、保健室における養護教諭の日常の活動を客観的に分析し、共有することで、養護教諭としての資質の向上を目指している。



<花巻遠野地区>

「異動時の困難感を軽減する有効な引き継ぎファイルの作成」

～「命のファイル」の活用を中心に～

花巻市学校保健会養護教諭部会

異動時の困難感・不安感を軽減し、職務を進めていくために、「児童生徒の様子・健康状態の把握と対応」、「文書ファイルの整理等」について取り組んできた。

引き継ぎファイル・命を守るファイル（一覧表と個別記録表）を作成し、活用・評価を行いながら、児童生徒の様子が見える・分かるファイル、活用しやすいファイルづくりを進めている。実践研究を通して、日常の養護教諭の執務を振り返る機会になっている。



<胆江地区>

「保健室における主訴別問題対応表の活用と成果」

金ヶ崎町学校保健会保健安全部会

養護教諭の救急処置における対応は、子供の状況に応じた適切な対応、特に、緊急性の有無や病院受診の必要性を判断することが求められている。しかしながら、限られた時間において、養護教諭自身の経験から感覚的に対応し、判断が適切であったか不安になることも少なくない。

そこで、本研究班では、緊急性を判断でき、不安なく対応できるよう、主訴ごとの問診対応表（特に多い頭痛と腹痛）を作成中である。その主訴別問診対応表を今後活用し、成果を検証していく。

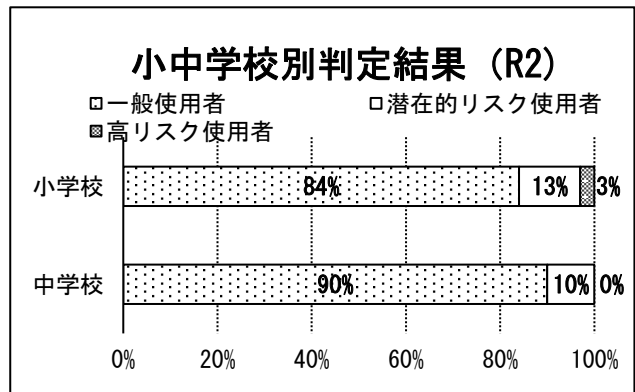
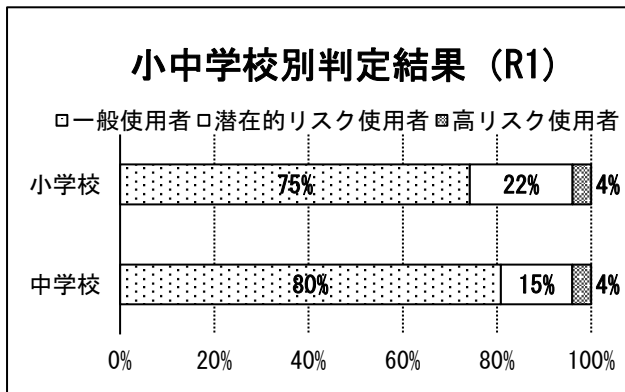
<和賀地区>

「ゲーム・インターネットと上手につき合える子の育成」

和賀町学校保健会子どもの検討委員会

西和賀町は小学校2校、中学校2校の養護教諭4名で活動している。インターネットにつながるものが身近にあふれている環境にある現在、インターネットを利用したゲームや動画等の利用者の増加と低年齢化は進む一方である。

そこで、平成30年度よりゲーム・インターネット依存セルフチェック調査を実施し、児童生徒の傾向や変化の実態を把握し、依存の予防と対策等、指導方法や内容を検討し実践している。



<一関地区>

「メディア依存に伴う健康問題の効果的な保健指導を考える」

～保健室で関わる事例をとおして～

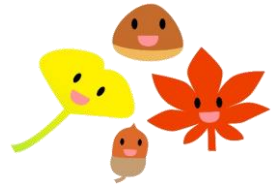
平泉町学校保健会養護教諭部会

メディア依存に伴う健康問題を抱える児童生徒に対し、平泉町では文献研究に基づき本人が自分の意思で行動を変容していく支援を目指し、「睡眠日誌」をツールとして使用した効果的な保健指導のあり方を模索している。昨年度は臨床心理士によるスーパーバイズや講義を受け「傾聴」をキーワードに児童生徒に関わってきた。

今年度はそれぞれの事例を「行動変容のステージ」に沿って分析し、支援技術と具体的な支援方法を検討している。



令和3年度 新採用の方々（敬称略）



石崎 未来	盛岡市立杜陵小学校	村上 舞果	大船渡市立末崎小学校
加賀 千尋	盛岡市立北厨川小学校	村上 美穂	陸前高田市立矢作小学校
山岡 咲	盛岡市立太田東小学校	大谷地琴美	陸前高田市立竹駒小学校
迫田みなみ	盛岡市立土淵中学校	糠盛 由佳	釜石市立鷓住居小学校
清川 双葉	八幡平市立田頭小学校	小笠原真萌	釜石市立甲子中学校
山本 綾乃	八幡平市立寄木小学校	佐藤 遥	宮古市立宮古小学校
福原 笑	雫石町立西山小学校	千葉 奈実	田野畑村立田野畑中学校
平野 瑞希	葛巻町立五日市小学校	工藤 優香	二戸市立福岡小学校
二橋 綾乃	葛巻町立葛巻中学校	吉田 美和	県立盛岡第四高等学校
湯浅 望	花巻市立若葉小学校	稲取 亜美	県立盛岡南高等学校
村上 和奏	遠野市立土淵小学校	村上 優華	県立盛岡峰南高等支援学校
馬場沙也加	北上市立黒岩小学校	山崎日奈子	県立大迫高等学校
佐藤 希美	北上市立更木小学校	金森 舞	県立黒沢尻北高等学校
土田 僚子	北上市立いわさき小学校	霞 迪代	県立北上翔南高等学校
川端 千春	奥州市立衣川小学校	山田 汐織	県立花巻清風支援学校
三浦 公佳	奥州市立胆沢愛宕小学校	橋本 瑞希	県立千厩高等学校
佐藤 愛	一関市立弥栄小学校	奥山 悠美	県立一関清明支援学校山目校舎
高原 悠以	一関市立巖美小学校	高橋 楓	県立一関清明支援学校千厩分教室
末永 小晴	一関市立大原小学校	立花 知子	県立盛岡みたけ支援学校奥中山校

<広報部より>

会報「ようご」はメール配信となります。
各自印刷の上、お手元をお願いします。
発行にあたり、ご寄稿いただいた皆様に
感謝申し上げます。

